

狭山市テニス協会会則

第一章 総 則

- 第1条 本会は埼玉県狭山市テニス協会と称する。
- 第2条 本会は狭山市内の硬式テニス団体を統轄し、硬式テニスの普及発展を図りテニスを行う人達の親睦と人格の形成等を図ることを目的とする。
- 第3条 本会は前条の目的を達成するため下の事項を行う。
- 1 市内硬式テニス選手権大会の開催
 - 1 県民体育大会選手派遣
 - 1 硬式テニス教室開催
 - 1 その他、本会目的達成に必要な事項
- 第4条 本会は狭山市内の硬式テニス統轄団体として狭山市体育協会に加盟する。
- 第5条 本会は事務所を狭山市内に置く。

第二章 会 員

- 第6条 本会は原則として下の狭山市在住・在勤・の会員をもって組織する。
- 1 団体会員 テニスクラブ・官庁・会社・学校等の団体
 - 1 個人会員 本会に入会した個人
- 第7条 本会に入会を希望するものは所定の手続きにより申込み、理事会の承認を必要とする。
- 第8条 会員は別に定める会費を、毎年原則として3月末日迄に納入するものとする。
- 第9条 会員にして本会則に違反するか、本会の対面を傷つけた行為ありと認められた時は理事会決議により除名することができる。

第三章 役 員

- 第10条 本会は下の役員を置く。
- 1 会 長 1名
 - 1 副会長 数名
 - 1 理 事 若干名(理事長・会計を含む)
 - 1 会計監査 1名(前年度の会計)
 - 1 上記の他、名誉会長・顧問等を置くことができる。
- 第11条 会長・副会長・理事は総会において選出される。
理事長・会計は理事会において互選する。
役員の任期は、2年とし、再任はこれを妨げない。
- 第12条 名誉会長・顧問等は理事会がこれを推薦し、会長が委嘱する。
- 第13条 会長は本会を代表し、会務を統理する。
副会長は会長を補佐し、会長の事故あるときはその職務を代行する。

第14条 理事会は本会の会務を企画し、運営・実務を統理する。

第15条 会計は本会会計を担当する。

第16条 会計監査は本会会計を監査し総会に報告する。

第17条 理事は本会の運営・実務等に当たる。

第18条 役員は理事会を組織して会務を遂行する。

第19条 役員は任期満了後でも後任者が就任する迄は、その職務を行うものとする。
又補欠による役員の任期は前任者の残余期間とする。

第四章 総会及び理事会

第20条 総会は本協会の最高議決機関であり、会長がこれを召集し下の審議を行う。

- 1 予算及び決算
- 1 事業計画
- 1 役員の選出
- 1 会則の改訂
- 1 その他必要事項

尚、総会の召集は総会開催日より10日前迄に会員に通知しなければならない。
又臨時総会は理事会が必要と認めたととき、又は会員の5分の1以上から審議すべき議題を示して請求があったときは、之を開催しなければならない。

第21条 総会は会員の過半数(委任状を含む)をもって成立し、議事は出席者の過半数で決定する。可否同数の場合は議長が決定する。

第22条 無断欠席者は委任状を提出したものとみなす。

第23条 理事会は役員によって構成され過半数以上の出席をもって成立する。

第24条 理事会は総会の決議に基づき本協会運営に必要な事項を決定する。

第五章 会 計

第25条 本協会は補助金、会費及びその他寄附等により運営される。

第26条 本協会の会計年度は毎年1月1日をもつて始まり、12月31日に終わる。

附 則

- 1 この会則は総会の決議がなければ改訂できない。
- 1 この会則の施行に必要な細則は理事会で別に定める。
- 1 この会則は昭和60年1月1日より施行される。

- 1 この会則は平成21年1月1日より施行される。
(第5条、第6条、)

細則

1. 入会手続き

団体会員： 所定の登録用紙に、団体名・代表者名と各会員の住所・電話番号を記入し、会費を添え申し込む。

尚、年度内の追加登録は、別途書面にて理事会あてに提出するものとする。

個人会員： 書面に在住・在勤を証明するもの(免許証等の写し)を添付し、会費を添え理事会あてへ申し込む。

2. 会 員

会員は狭山市在住・在勤者を対象とする。

但し、狭山市内にクラブ占有のコートを持つテニスクラブに所属している者も対象とする。

占有コートを保有しないテニスクラブに所属している者で、上記に該当しない者は準会員としこれを認める。
準会員は団体登録料とは別に、年間1000円/人を納入するものとする。

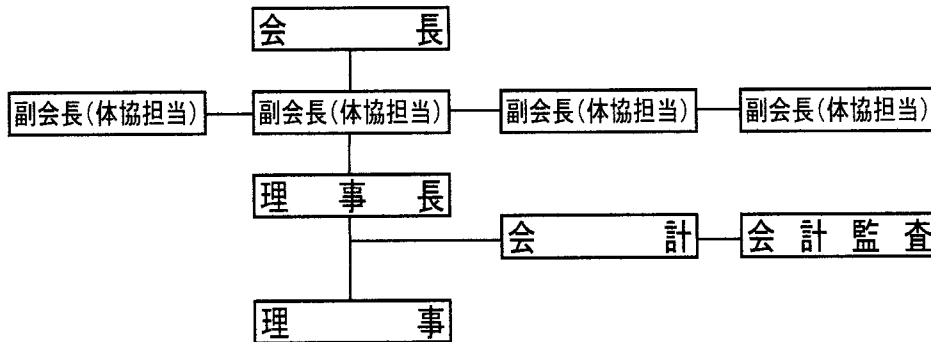
3. 会 費

団体会員： 1会計年度 1000円/人

個人会員： 1会計年度に 500円/1個人

準会員： 1会計年度に 1000円/人

4. 役 員



5. 市民大会運営等

協会加盟団体は協会が主催する(室内、団体戦、ミックス、ダブルス、シングルス)の大会運営に協力するものとする。(大会レフェリーは役員が担当する。)

(例： 30登録団体ですと2年に1回程度の協力となります。)

6. 弔慰金について

協会役員の子親等親族が死亡した場合には、協会より原則として1万円を弔慰金として支出するものとする。

7. 大会参加資格

理事会にて別に定める。